

令和5年度 経営発達支援事業評価報告

経営発達支援事業

令和2年3月認定を受けた経営発達支援計画を実行し5年計画の4期目が終了しました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響も減少しましたが、生活様式変化に伴う経営環境の変化に対応できない事業者のサポートが重要でした。創業間もない事業者の基礎的支援も重なり一部計画とおり実施出来ませんでした。

事業成果を上げていくためには、業務体制の見直しや経改事業と経営発達支援事業の効率的な推進体制を構築してまいります。

(1) 地域の経済動向調査に関すること

経営発達支援事業を行う上での基礎情報収集と蓄積を中心に行い、数値目標に関しては下振れしているが、小規模事業者へのヒアリングで経営課題や支援ニーズなどの整理ができ、事業方向性を見つけ出す資料となり一定の成果があったと考えます。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域内景況感把握収集数	240	233	収集した情報の提供	4	4
経済動向・課題の整理分析会議	4	4			

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	<p>（中川委員）景況感把握収集した内容をどのように公表しているか。→収集したデータを基に景況調査報告書を作成し、商工会HPに掲載している。</p> <p>（新谷委員）自己評価を入れて、定性面の評価、振り返りをし状況を報告するような改善が望ましい。</p>

(2) 経営状況の分析に関すること

記帳機械化事業者による財務分析、事業計画を作成した事業者や金融支援を実施した事業者に、過去の財務状況による経営分析を実施し、おおむね計画とおり実行出来ました。今後は、事業主から対話と傾聴を通じ財務資料の提供を円滑に実施し、自社の見える化が図れるようにいたします。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
経営分析・財務分析	120	116	経営分析セミナー開催	1	0

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	<p>（中川委員）昨年対比して増加している要因は何か？⇒記帳機械化事業者による財務分析事業者の加算した為。</p> <p>（門馬委員）分析した事業所の反応はどうか？⇒事業決算書作成のみでなく、資料説明の際、事業資金が必要な場合の返済財源の深掘りが出来たなど一定の効果が確認できている。また、当会会員の決算状況を集計した業種別データを作成し参考指標として提供出来るツールを活用していきます。</p>

(3) 事業計画策定支援に関すること

セミナー等の開催は、職員減少や基礎的支援業務の対応等で減となりましたが、伴走型小規模事業者支援事業による販路開拓事業や持続化補助金など事業計画作成のきっかけの下地が出来たので、一定の成果を得る事が出来ました。創業塾は、昨年度、新型コロナウイルスもあり定員10名で実施しましたが、今年度は従来の定員15名で創業支援を実施致しました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
創業塾開催数 (受講者数)	2 30	1 15	後継者塾開催数 (受講者数)	1 30	1 4
事業計画策定事業者数	60	32	創業計画策定支援者	5	6
事業計画策定セミナー (受講者数)	1 10	0 0			

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
B	(中川委員) 創業塾2回開催出来なかった要因は?⇒職員数の減少、基礎的支援の業務増が主な理由である。・今後業務リストラが実行出来れば対応検討します。

(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業計画作成者に対し、計画実行に必要な資金調達など継続的なフォローアップを計画とおり行いました。また、創業間もない事業者への金融相談をはじめ経営基盤安定化に向け、経理税務や労務支援を行いました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
事業計画策定者フォローアップ	60	32	創業計画策定者フォローアップ	5	6
事業計画フォローアップ頻度	240	115	創業計画策定者フォローアップ頻度	20	15

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
B	(門馬委員) 事業計画書はどのような形式のものか? 共通書式で SWOT 分析、現状把握、資金計画 (3年計画) など網羅した A3 書式で作成している。 (新谷委員) 事業計画策定者が4回のフォローアップを実施する計画でいいのか? ⇒1事業所で4回のフォローアップ支援の計画です。 (中川委員) 人材不足の対応できていますか? ⇒飲食店が人材不足で配膳ロボット導入するなどあり。解決策がなく、既存事業の減退が多くなっている。事業所間の紹介など (建設業で従業員高齢化により、外注として大工紹介など) で事業の維持が図ればよい。

(5) 需要動向調査に関すること

経営状況の把握や経営分析を実施する際、外部要因を把握することにより、地域内の需要動向を把握に努めました。また、事業計画書作成や金融支援の際、業種別審査辞典やインターネットを活用した需要動向の情報提供を行う他、北海道味覚マルシェ in 札幌に参加した2事業者にアンケート調査を実施し、今後の経営の底上げを図りました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
需要動向の整理・分析会議	4	4	外部データの活用	60	9
物産展時のアンケート調査 実施事業所数	2	2			

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
C	(中川委員) 外部データの数値的な補正はしているのか? ⇒数値的な補正はしていないが、金融機関がこういう見方をしているなどの定性的な説明はしている。また JNET21 などの業種別データの活用など今後計画とおり遂行出来るように努力します。

(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

中小企業診断士等の専門家と連携した販路拡大支援や「小規模事業者持続化補助金」の採択を受けた事業者の販路開拓支援を実施、紙面広告（ライナー広告）や映像プロモーションビデオ作成支援事業を実施。新規顧客獲得や売上増など一定の成果があったことに加え、提供した需要動向を基に新たな事業展開をする事業者の輩出もできました。

北海道味覚マルシェ in 札幌（10月4日～9日）に参加した2事業者に対し販路開拓支援を実施しました。職員も同行したことで、商品のPRや消費者の反応などを肌で感じる事が出来、今後の経営支援に活かせる経験となりました。

インターネットを活用した販路拡大セミナーは、HADAKADENKYU 星野智哉氏（会員）を講師に迎え「動画を活用して店の魅力を効果的に伝える販路開拓セミナー」を開催し、30名の方が参加して頂き、今後の販路開拓向上に寄与することができました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
ビジネス EXPO 出店事業者	3	0	北の味覚マルシェ札幌出店事業者	2	2
地場産フェア出店事業者	5	0	地域フリーペーパー広告事業者	30	20
映像プロモーションビデオ事業者	20	5	グーペ登録件数	425	150
日本セレクト出展企業数	2	1	インターネットを活用した販路開拓セミナー	1	1

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	<p>（中川委員）動画は、ショート（15秒程度）が主流となっているが、当会のPV動画は？⇒90秒で作成している。今後インスタやTikTokでの動画作成要望が予想されるので個別指導で対応予定。</p> <p>（門馬委員）動画作成の需要は高く、日本政策金融公庫で、R6年に東京からSNS専門家を招き講習会を開催予定である。⇒当会も参加し、新たな情報、手法を習得したい。</p>

(7) 地域経済の活性化に関する事

2期目の計画から旭川市内の地域情報を収集できる協議会に参画する事、若手リーダーの発掘と支援育成により地域活性化を図っていく事となっております。

若手リーダー資質向上を図る為の各種セミナーの開催（経営力強化支援講習会 11名参加・ビジネス支援経営講習会 4名出席）、また青年部員の加入推進を図る異業種交流会を実施し部員強化につながる活動を行いました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域経済活性化に資する協議会に参画	8	7	観光需要を取り組むためのセミナー	1	0

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	<p>（中川委員）青年部の現状は？旭川市立大学との連携をしてみても？⇒部員33名で減少傾向である。昔は地域イベントの参画や仲間作りが主流であったが、現在は資質向上セミナー習得や異業種交流会による情報交流での部員増加を図っている。今後大学との連携も提案し、検討する。</p>

(8) 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

新型コロナウイルスの影響も緩和され、指導員各々が日本政策金融公庫、旭川産業創造プラザと補助金、施策等の情報交換を実施し円滑な事業運営を推進した。

2.経営指導員等の資質向上等に関すること

①各種研修会への参加

北海道商工会連合会が主催する職種別等の研修会への参加でき、資質向上に努めた。

②経営指導員会議による情報交換

2ヵ月に1回程度指導員会議を開催し、経営支援情報や研修内容の情報共有化を図れた。

③専門家の支援ノウハウ習得

小規模事業者各々の経営課題解決に向け、課題に応じた専門家を派遣し支援強化が図られた。

個別講習会（商工会予算）による専門家派遣 延べ 4 事業者 開催回数 5 回

④全職員参加のカンファレンス会議

11月11日土曜日9時から13時 事業所2社事例紹介、講師に中小企業診断士後藤直樹氏を迎え開催した。

3.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①評価委員会による評価の実施

新型コロナウイルスの影響を考慮し年度評価は、委員の方に巡回し資料説明を行い、書面により評価を頂いた。中間報告は、あさひかわ商工会で開催し、評価委員会から改善点等意見を頂いた。

令和5年5月中旬（年度評価）、令和5年11月1日（中間報告）

②事業の報告 事業の評価や見直し案について三役会や理事会で報告いたしました。また総代会へ報告し承認を受けました。

③事業の公表 事業の評価や見直し結果をあさひかわ商工会のホームページで公表しました。

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	（門馬委員）職員数の減少や基礎的業務増加がある中、資質向上のカンファレンス会議を実施するなど、頑張っている。